

柄沢正三 県議会だより

ごあいさつ

日本選手団の活躍でメダルラッシュに沸いた東京オリンピックが終わり、お盆も過ぎススキの穂が出始める季節になりましたが、まだまだ厳しい残暑が続く毎日です。

新型コロナウイルス対策のワクチン接種も進んでいますが、国のワクチン調達が遅れ、未だ感染拡大に歯止めが掛からない昨今です。ワクチン接種を加速させ、併せて治療薬の開発を促進し、コロナ禍の一日も早い終息を願うばかりです。

コロナ禍にあっても自然の摂理は不変です。新緑から深緑、そして収穫の秋を迎え、山は紅葉へと季節は巡ります。

この一年半、医療従事者を始めみんなで力を合わせ、新型コロナウイルスと全力で闘ってきました。長い長いトンネルですが、明けない夜はありません！何としてでもコロナ禍を克服し、笑顔が溢れる毎日を取り戻しましょう。

新潟県議会議員 柄沢正三



令和3年度 新潟県の新型コロナウイルス感染症対策

<主な事業>

■ワクチン接種体制整備事業： **0.9億円**
(副反応に対するコールセンターの設置など)

■新型コロナウイルス対策事業継続応援金(第2弾)：**24.8億円**
(事業継続応援金(4年目利子補給)の売上減少要件を緩和し、資金繰り支援を強化)

■新潟県事業継続支援金：**9.9億円**
(外出自粛等により売上が長期的に減少している飲食事業者に対する支援金の支給)

■新型コロナウイルス対応新事業チャレンジ支援事業：**10.5億円**
(中長期的なビジネスモデルの転換に取り組む中小企業等に対する支援)

■女性・高齢者等新規就業促進プロジェクト：**0.2億円**
(新型コロナの影響による離職者向けWebページの増設や職種転換を含めた個別相談等の実施)

■地域活性化リーディングプロジェクト：**0.5億円**
(県内地域の強みを明確にし、首都圏から人と企業を呼び込むプロジェクトの展開)

■県内産業のDXの推進：**0.7億円**
(新型コロナの影響によるデジタル化の潮流を捉え、新しいビジネスモデル等の創出を支援)

■2050新潟ゼロカーボンチャレンジ事業：**0.1億円**
(新型コロナの影響による在宅時間の増加を踏まえ、住宅の省エネ暖房等の普及を実施)

■ワクチン接種体制確保事業(新型コロナ対応)：**1.6億円**
(予約システムの構築、ワクチン輸送体制整備(可搬式ディープフリーザー)など)

■飲食店従業員等PCR検査実施事業(新型コロナ対応)：**0.7億円**
(飲食店従業員等に対する無料PCR検査体制の整備)

■新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金支給事業：**38.3億円**
(営業時間の短縮要請に応じた飲食店に対する協力金の支給 ※新潟市内)

■県内観光需要喚起緊急対策事業(新型コロナ対応)：**45.0億円**
(県民向け旅行商品・宿泊に対する割引等の実施)

■新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場設置事業：**36.0億円**
(県によるワクチンの大規模接種を実施)

■PCR検査重点実施事業(新型コロナ対応)：**2.6億円**
(県内で集団感染が発生した施設等にPCR検査キットを用いた無料PCR検査体制を整備)

■飲食店における新型コロナウイルス感染症対策認証事業：**2.0億円**
(必要な感染予防対策を行っている飲食店への認証マークの交付)

■感染症対策認証店舗設備導入支援事業：**13.5億円**
(認証を受けるために飲食店が行う感染防止対策に係る設備整備経費等に対する支援)

■新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金支給事業：**9.9億円**
(営業時間の短縮要請に応じた飲食店に対する協力金の支給 ※長岡市内)

■宿泊事業者感染防止対策支援事業(新型コロナ対応)：**34.7億円**
(宿泊事業者による感染防止対策等に必要経費に対する支援)

■美術館・博物館等支援事業(新型コロナ対応)：**0.4億円**
(美術館、博物館等の周遊パスポートの販売、周遊コース作成、スタンプラリーの実施等)

2月県議会

連合委員会【令和3年3月16日】(抜粋・要約)
(柄沢県議は自民党を代表して質問に立ちました。)

質問 柄沢県議

今冬の豪雪を踏まえれば、原発事故時を想定した冬期間の避難は、想像を絶するような状況になるのではないかと危惧する。実効性のある避難計画を策定するためにも、避難道路の整備は絶対に必要だ。県は国へ強く働きかけていくべきと思うが、知事の所見を伺う。

答弁 花角知事

現在、避難道路における渋滞箇所の把握と対策の検討を目的として、原発災害時、避難経路障害要因調査を実施している。調査の結果も踏まえて、必要な財政措置について国に強く要望していきたい。

質問 柄沢県議

この度の東京電力のIDカード不正使用問題は、原発の危機管理は勿論のこと、国家の安全保障にも関わる重大な問題だ。今回の事案に対する知事の認識を伺う。

答弁 花角知事

この案件は、核物質防護に関わる重大な不正案件であり、東京電力に原子炉の運転を的確に遂行するに足る技術的能力があるのかという点にも関わってくる深刻な案件であると受け止めている。原子力規制委員会には、厳格かつ適切に対応して頂きたい。

質問 柄沢県議

東京電力は柏崎刈羽原発を運転する適格性があるのか、県民は不信感を増幅させている。県は原子力規制委員会に対して、保安規定の再審査を強く求めるべきではないか。

答弁 花角知事

東京電力の能力について改めて評価すべきだと考えている。近い内に、原子力規制委員会と原子力規制庁に面会をするべく調整している。



連合委員会質疑

質問 柄沢県議

原発事故に関する三つの検証を総括する検証総括委員会の池内委員長が、検証委員会の中立性・公平性を阻害する言動を繰り返している。予断を持って原発再稼働反対や賛成につながるような世論誘導は許されるものではない。委員長として適格性に欠ける池内委員長は罷免すべきと考えるが、知事の所見を伺う。

答弁 花角知事

昨年12月定例会の連合委員会での柄沢委員の質問を受けて、去る12月末に池内委員長と面談し、県民に信頼して頂ける検証をしてもらいたいと伝えた。これに対して池内委員長からは、自らの発言に対して、言い過ぎたとの発言があった。引き続き検証総括委員会には、県民が信頼できる対応をとってもらいたい。

質問 柄沢県議

県は昨年9月に、2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを表明した。太陽光や風力発電のような再生可能エネルギーは、たびたび停電を引き起こすこともあり不安定であることは否めない。化石燃料に見切りをつけ再生可能エネルギーに過度に依存することは、電力供給に支障を来し、本県産業に影響が出るのではないかと危惧するが、知事の所見を伺う。



答弁 花角知事

太陽光や風力といった再生可能エネルギーは、出力変動に伴い、電力需給のバランスが崩れるリスクがある。県としては、カーボンニュートラルが県内経済の成長につながるように、水素の利活用や洋上風力発電の促進等、脱炭素技術のイノベーションに取り組んでいきたい。

6月県議会

厚生環境常任委員会 (抜粋・要約)

防災局質疑【令和3年6月22日】

質問 柄沢県議

柏崎刈羽原発の原発立地交付金については、半径5～30キロ圏で国が避難計画策定を義務付けている避難準備区域(UPZ)内で、交付金が貰えるところと貰えないところがある。

同じ30キロ圏内で原発事故時のリスクは同等なのに、交付金対象外の地域は経済的メリットも無く不平等だ。県は国に対して是正策を講じるよう働きかけるべきだ。

答弁 原子力安全対策課長

UPZ圏内において交付金の対象となっていない地域であっても、避難計画策定は義務化されています。県としては、UPZ内での平等な交付金の財政支援は必要と考えています。



柏崎・刈羽原子力発電所

福祉保健部質疑【令和3年6月23日】

質問 柄沢県議

新型コロナウイルス対策のワクチン接種が県内市町村で始まっている。それぞれの地域で最大限努力して進めてもらっているが、報道によれば、接種が迅速に進んでいるところとそうでないところが生じている。何故市町村間で差異があるのか、直近の市町村におけるワクチン接種の進捗状況を伺う。

答弁 感染症対策・薬務課長

県内全体では1回目の接種が50パーセントを超えている状況です。進捗状況は、人口が少ない町村は早い傾向が見られます。人口が多い市でも、上越市のように市民に対して予約日時を指定するなどの予約システムを工夫して早く進んでいる優良事例もあります。



厚生環境常任委員会質疑

質問 柄沢県議

ワクチン接種の進捗の濃淡は、予約の申込み方法が大きく影響しているのではないかと。

答弁 感染症対策・薬務課長

予約の申込み方法については、当初インターネット限定の市町村もありました。しかし、ご高齢の方にはインターネットは難しいということで、コールセンターあるいは市役所等の窓口での受付を併用するなどの改善策で、予約がスムーズになったという報告が多く聞かれます。

質問 柄沢県議

ワクチン接種も1,000人以上の大企業を対象とした職域接種が始まっている。国民が一斉に接種できるのが理想だが、物理的に不可能だ。公共の利益を考えれば、重症化リスクの高い方や医療従事者・介護従事者を筆頭に、高齢者にも配慮しつつ、自衛隊、警察、消防等の大事な危機管理に携わっている人たち、災害時に欠かせない存在である建設業、そして国や地方自治体の行政のトップや行政のスタッフたちを大企業の職域接種よりも優先して接種すべきだと考えるが所見を伺う。

答弁 感染症対策・薬務課長

ワクチン接種の優先順位は、ご指摘の通り実施することは意義のあることだと思います。今後、県の所管の中では、ご指摘を踏まえしっかりと調整を図ってまいります。



与板 市街地浸水被害対策 黒川流末川改修事業スタート

原並びに稲荷町を中心とする市街地は、長年浸水被害に悩まされて来ました。柄沢県議は、地域の皆さまの長年に亘る要望を実現するべく、県土木部に強く働きかけてまいりました。そこで県土木部では、数年前から湛水防除の調査を実施し、黒川流末川を安全な構造で築堤するとともに、河道掘削を行うことで、与板排水機場への逆流を防ぎ、町裏川からの市街地排水を安全に流下させるべく、黒川流末川の改修事業に着手することを決定いたしました。

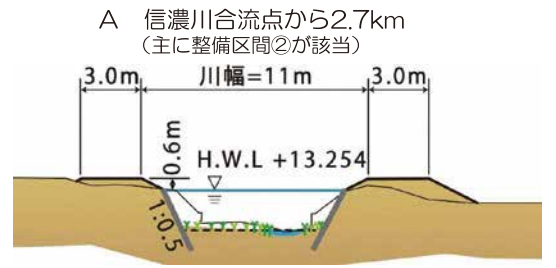
事業内容は、原の与板排水機場から、寺泊敦ヶ曾根までの区間7.9kmの内、5.6kmを改修するもので、全体事業費は約20億円を見込んでいます。

現在、調査・設計を実施し、用地取得を経た後、令和5年度から工事に着手する予定です。

一級河川黒川流末川 河川改修位置図・代表横断面図



信濃川水系中流圏域河川整備計画 (R1.8.26認可) より抜粋・加筆



※横断面は現地精査により変更する場合があります

平成25年8月豪雨と与板市街地周辺での浸水被害と河川改修区間



現在の黒川流末川

一級河川黒川流末川 改修事業計画

令和3年7月1日時点

実施項目	実施内容	R1	R2	R3	R4	R5	備考
河川整備計画策定	整備目標・整備内容の確定	■■■■					整備計画区間L=7.9km (うち改修区間L=5.6km) 全体事業費約20億円、令和元年8月策定
事業計画説明会	事業の進め方の確認		■■■■				令和2年7月与板、寺泊地区で開催 上流部④工区から着手
測量・調査・設計	用地境界の確認、構造物の設計	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■		④工区
用地確保	用地関係者と調整協議・用地取得			■■■■	■■■■	■■■■	④工区
工事実施	分流堰・護岸工事					■■■■	④工区

与板

新潟県議会議員

柄沢正三 事務所

〒940-2402 長岡市与板町与板乙2445-4

TEL. 0258-72-3838

FAX. 0258-72-3088

Mail k.shozo@alto.ocn.ne.jp

HP www.karasawa-shozo.jp



柄沢正三 検索
ホームページもご覧下さい。



QRコードでLINEの友だちを追加して下さい。

黒川河川改修(七日市橋付近)

黒川河川改修も地域の皆さまのご協力を頂き、順調に進捗しています。

令和3年度は七日市橋の取り付け道路工事を行い、仮橋を撤去いたします。令和3年度事業費は1億5000万円です。

七日市橋の開通は、12月上旬頃を予定しています。



七日市橋工事全景



七日市橋上部工

活動報告

公共事業現地視察(三島地域)

箇所	説明場所
① 長岡市宮沢(藤宮地区):地すべり 法面工(集水井)	宮沢バス停前
② 長岡市藤川(茶川):河川改修	藤川集落下流市道橋
③ 長岡市脇野町(小木城川:黒川合流点):河床掘削	小木城橋
④ 長岡市七日市(黒川):河川改修(七日市橋架替)	七日市橋左岸
⑤ 長岡市七日市(与板関原線):消雪パイプ打替・舗装補修	七日市公民館
⑥ 長岡市鳥越(中永宮本線):消雪パイプ新設	大和電機産業駐車場
⑦ 長岡市三島上条(国道352号):道路拡幅	事業現場



七日市橋架替工事視察(令和3年6月14日)

新潟県議会議員

柄沢正三 事務所

〒940-2402 長岡市与板町与板乙2445-4

TEL. 0258-72-3838

FAX. 0258-72-3088

Mail k.shozo@alto.ocn.ne.jp

HP www.karasawa-shozo.jp



柄沢正三 検索
ホームページもご覧下さい。



QRコードでLINEの友だちを追加して下さい。

出雲崎 国道352号道路改良事業

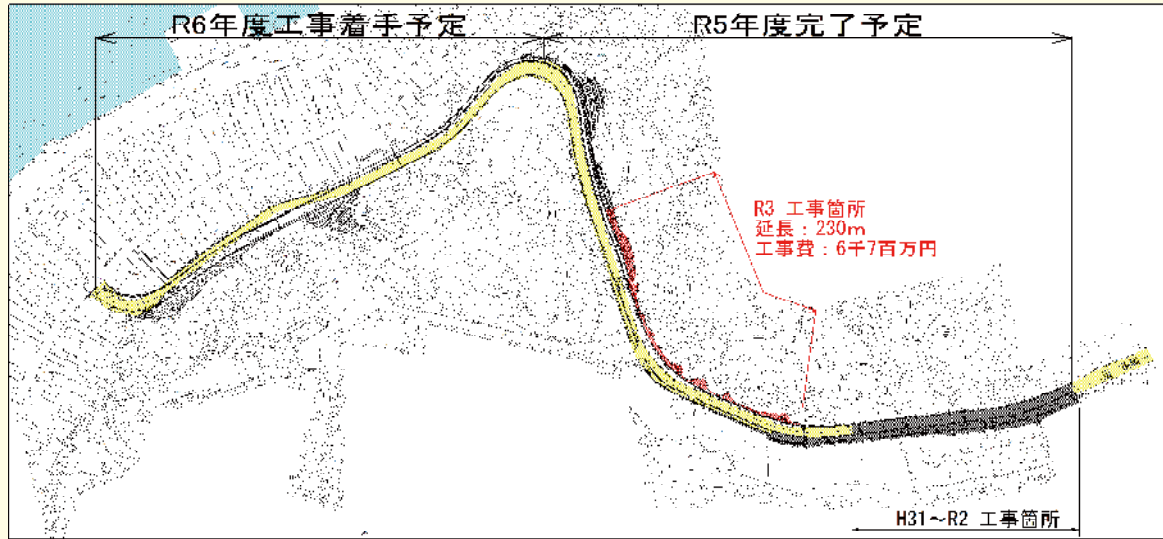
平成26年度からスタートしたこの事業は、令和3年度は米田地内の工事を行います。

海岸側の工事は、山の法面を削って道路を拡幅します。

この事業が完工すると大型バスのすれ違いも楽になり、交通の利便性向上と、出雲崎観光の発展に大きな期待が寄せられます。

一般国道352号 出雲崎道路改良

全体計画 L=980m W=6.0(10.5)m



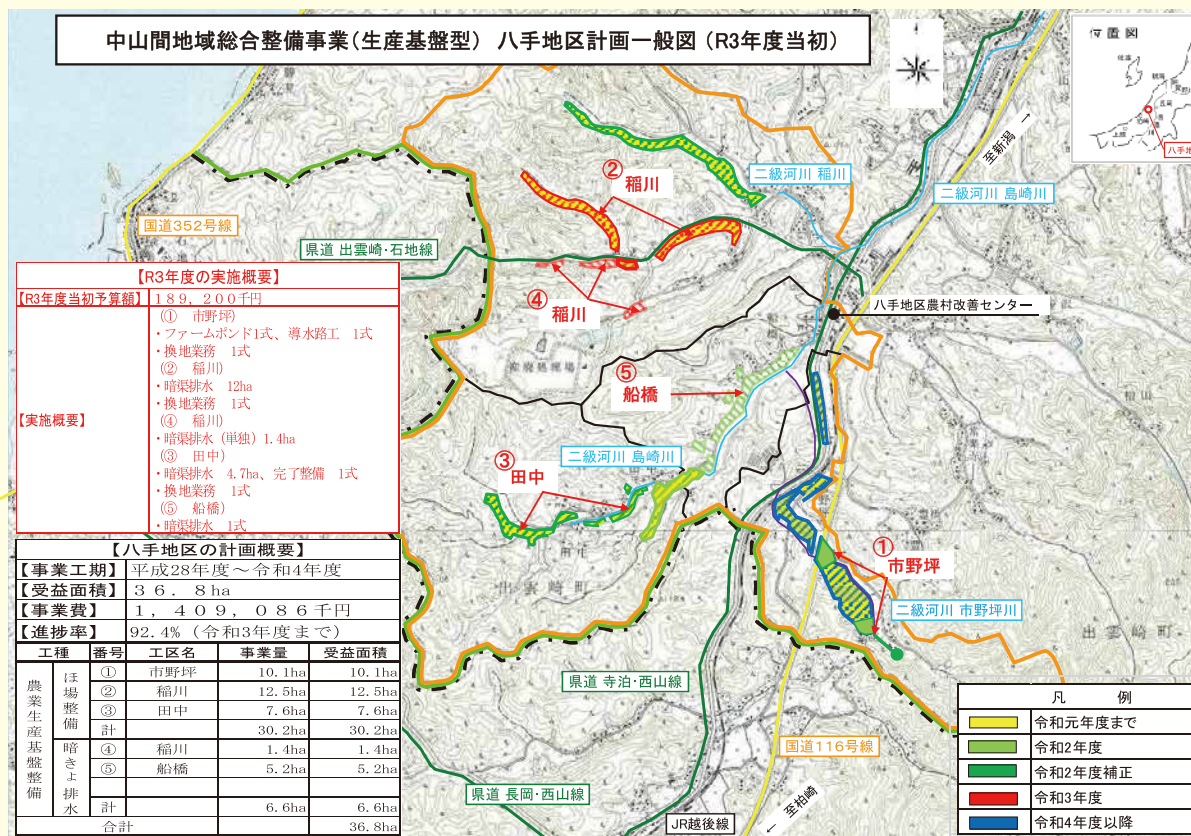
国道352号道路改良全景



国道352号道路改良 海岸側

八手地区中山間地域総合整備事業(ほ場整備)

平成28年度から始まったこの事業は、令和3年度は市野坪のファームポンドと導水路工、稲川・田中・船橋の暗渠排水の工事を実施します。



市野坪地区



田中地区(ファームポンド)



稲川地区(ファームポンド)

出雲崎

新潟県議会議員

柄沢正三 事務所

〒940-2402 長岡市与板町与板乙2445-4

TEL. 0258-72-3838

FAX. 0258-72-3088

Mail k.shozo@alto.ocn.ne.jp

HP www.karasawa-shozo.jp



柄沢正三 検索
ホームページもご覧下さい。

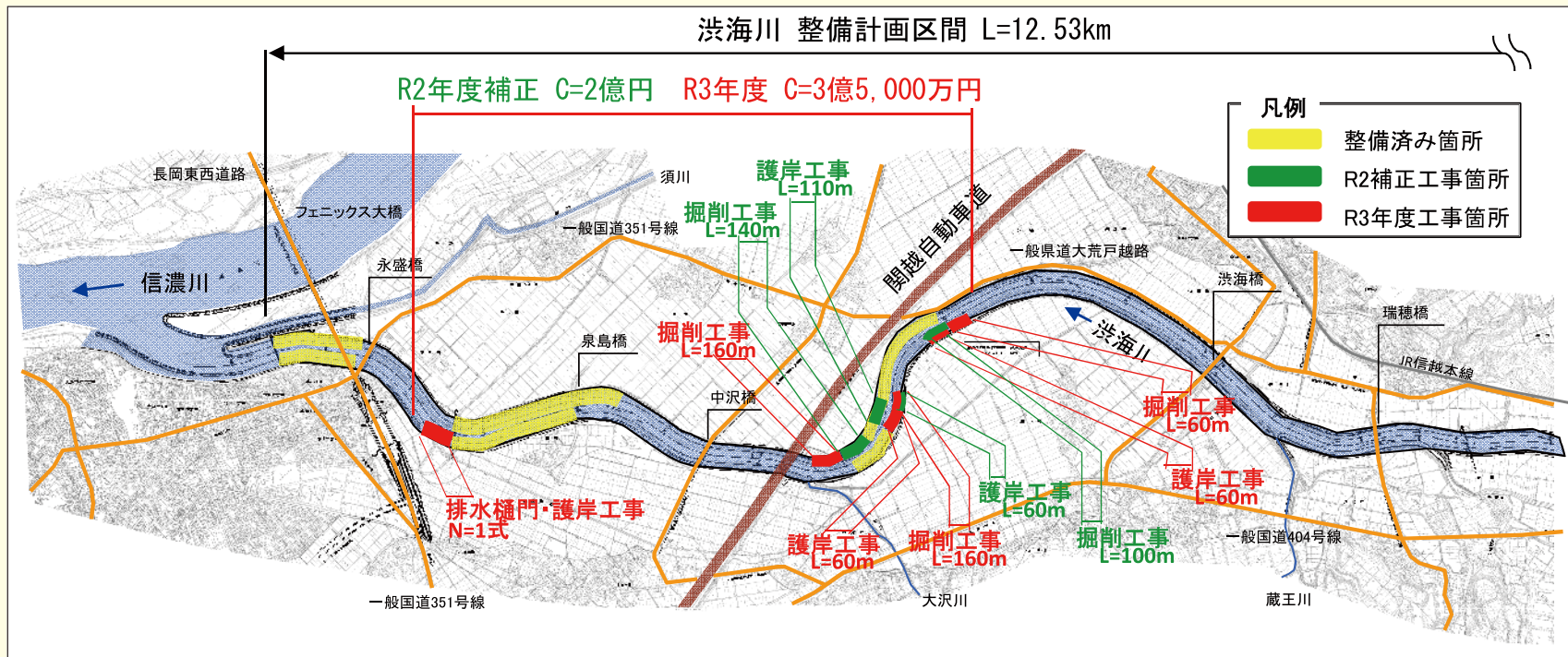


QRコードでLINEの友だちを追加して下さい。

渋海川改修事業

渋海川改修事業は、県予算も重点的に配分され順調に進捗しています。特に令和元年の台風19号時では、その事業効果がハッキリと確認されました。

令和3年度は、下流の排水樋門・護岸工事と中沢橋から上流の掘削・護岸工事(5か所)を実施いたします。

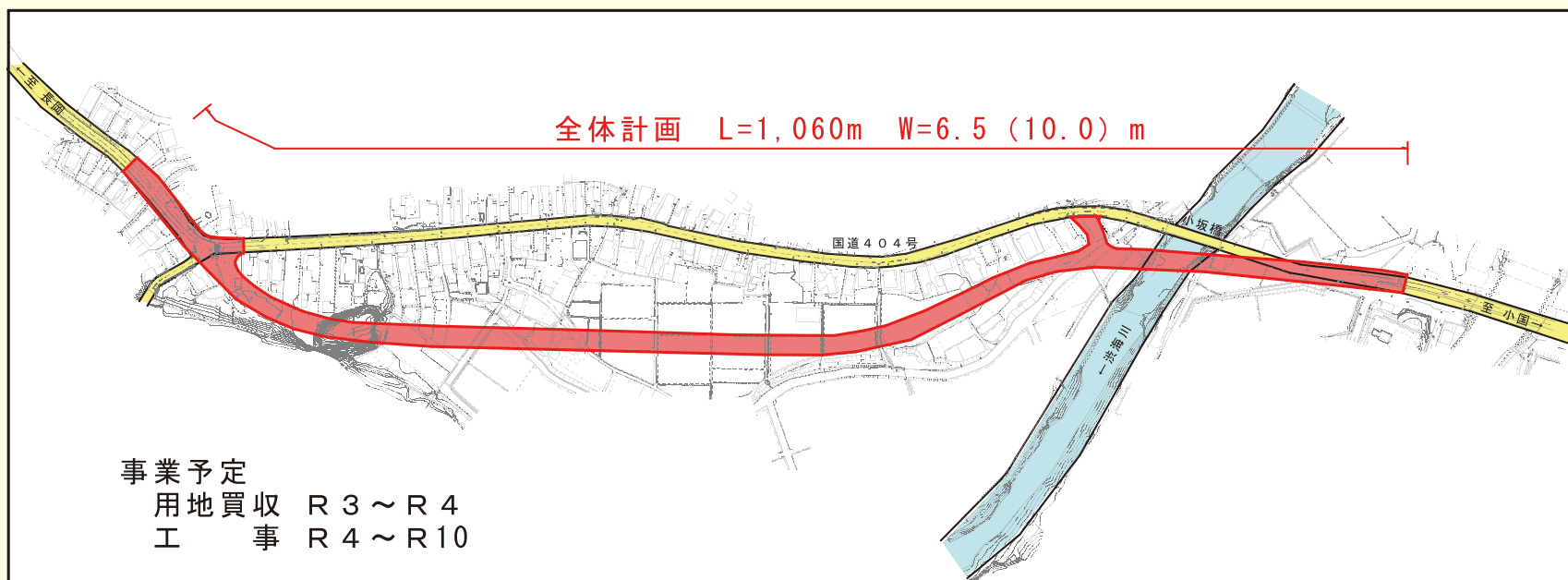


国道404号塚野山バイパス

地元の皆様のご理解とご協力がいよいよ事業がスタートいたします。令和3年度は、小坂橋の詳細設計と用地買収を行い、令和4年度から工事に着手する予定です。

全体事業費は約20億円、工事完了は令和10年度を目指しています。

一般国道404号 塚野山バイパス



新潟県議会議員

柄沢正三 事務所

〒940-2402 長岡市与板町与板乙2445-4

TEL. 0258-72-3838

FAX. 0258-72-3088

Mail k.shozo@alto.ocn.ne.jp
 HP www.karasawa-shozo.jp



柄沢正三 検索
 ホームページもご覧下さい。



QRコードでLINEの友だちを追加して下さい。

国道402号寺泊バイパス事業

年間の観光入込客230万人を誇る寺泊の国道402号は、慢性的な交通渋滞に悩まされています。この問題を解決するべく県土木部は、大河津分水大改修の残土を活用して「魚の市場通り」の海側に新たなバイパスを建設いたします。

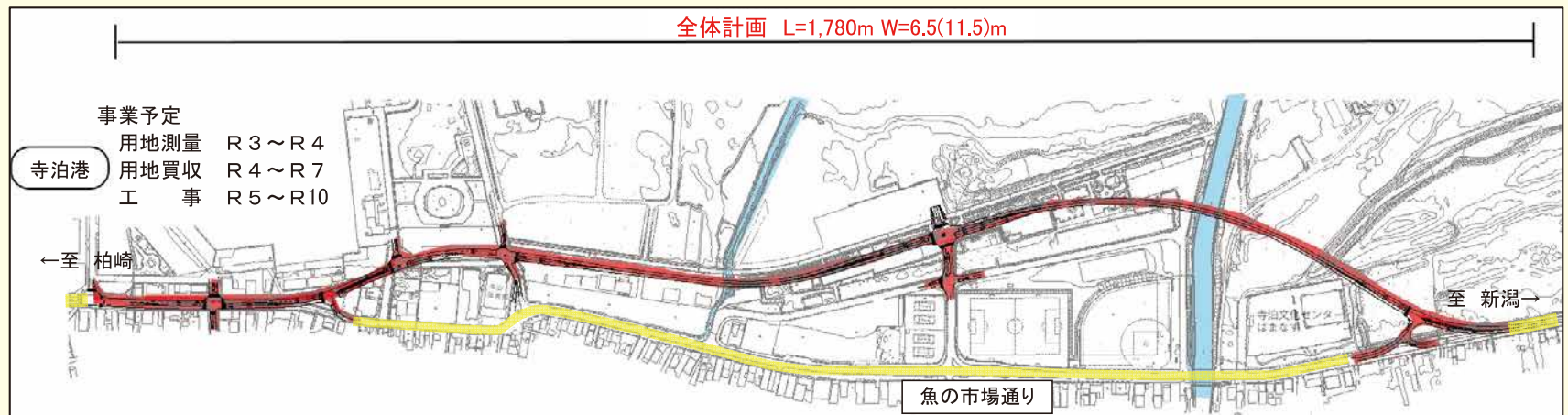
コロニー白岩の里を過ぎた所から寺泊文化センターの裏を通り海沿いに走り、郵便局の裏から現国道に合流する延長約1.8Kmのルートです。

現在、用地測量を実施し、用地買収を経た後、令和5年度から工事に着手する予定です。



完成イメージ

一般国道402号 寺泊バイパス



年友地区、平野新地区ほ場整備事業

年友地区と平野新地区のほ場整備事業がいよいよスタートします。

令和3年度は、年友地区が排水路改修工事と換地、平野新地区が田尻地区の区画整理6ヘクタールの工事と換地を実施します。



年友地区



平野新地区

